

資料5 DX推進

全ての人が使いやすくアクセスしやすい、居心地が良く快適な庁舎

整備方針

- ・DXの推進を前提とし、多様化する行政ニーズと効率的な業務運営を支える庁舎を目指します。
- ・将来的に導入が予想されるICT等を活用した技術への対応も視野に入れた庁舎を目指します。

※ DX (digital transformation) : デジタル技術の活用による新たな商品・サービスの提供、新たなビジネスモデルの開発を通して、社会制度や組織文化なども変革していくような取組を指す概念のこと。

(1) DXの推進

- ・「くまもとDXアクションプラン」を踏まえ、業務効率化と行政サービスの向上に寄与する庁舎を目指します。
- ・行政サービスの向上と業務効率化が両立できるデジタル技術を導入します。
- ・情報セキュリティを維持しつつ、職員が場所を問わず効率的に業務を行うことができる情報ネットワーク基盤を構築します。
- ・あらゆる災害に対応できる庁舎を目指し、回線の冗長化などによるシステム強靭化を図ります。

(2) 将来への対応

- ・将来的に導入が想定されるICTやAIを活用した技術（AIカメラ、案内・警備・清掃などを担うロボット等）に対し、設計段階から導入を前提とした計画（配管敷設、電源設置等）とします。
- ・基本計画策定期階で具体的な導入の想定が難しい技術についても、設計段階・施工段階で将来的な導入に向けて継続して検討を進めます。

	住民サービスの向上	職員の生産性向上	セキュリティ対策
導入済の技術 ※必要に応じて拡充を検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップサービス導入 ・書かない窓口導入 ・オンライン申請導入 ・キャッシュレス導入 ・混雑状況配信 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワークの環境整備 ・ペーパーレス化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・端末の静脈認証導入
将来的に導入が想定される技術	<ul style="list-style-type: none"> ・来庁者予約サービスの提供 ・AI受付サービスの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室の予約システム導入 ・空調、照明の自動制御導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯対策用AIカメラの導入 ・サービスロボットの導入 ・入退出管理システムの導入